

## 地域環境保全功労者功績内容等（政令指定都市）

県 別	氏名・年齢・職業	主 要 経 歴	功 績
横浜市	横浜自然観察の森友の会 雑木林ファンクラブ  代表者 片岡 章	設 立 平成元年3月 構 成 員 71名	雑木林や針葉樹林の管理保全作業、希少動物の保護育成を通じて身近な自然を守り、育て、活かす方法を探り、地域へ活動を広げている。また、クヌギ等の伐採木を利用した炭焼きやスギやヒノキの間伐材を使ったベンチづくり等の市民向けの行事を開催しているほか、森林育成に関する実技指導を行うなど、地域の環境保全及び市民への普及啓発に貢献している。
名古屋市	さとう まさたか 佐藤 正孝 （63歳）  名古屋女子大学大学院 生活学研究科長	昭和40年 愛知県衛生研究所技師 昭和42年 名古屋女子大学家政学部講師 昭和54年 同教授 昭和62年 同学部長 平成7年 同大学文学部長 平成10年 同大学大学院生活学研究科長	昭和56年より環境影響評価審査委員として、要綱に基づき提出された38件の準備書について専門分野の観点から審査を、また、新制度への移行に当たっては、環境審議会委員として、「今後の環境影響評価制度のあり方について」の答申の作成に携わっていただくなど、多年にわたって本市の環境行政の推進に貢献した。
広島市	宇宙船地球号の会  代表者 竹本 伸	設 立 平成元年10月 構 成 員 60名	多年にわたり、「買い物袋の再利用に関する調査」や、海岸の散乱ゴミを拾って発生源などを分析する「ビーチクリーンアップ活動」を各地で展開した。また、近年では、高校生を対象とした年10回程度の環境講座や、小学生を対象とした「こどもエコクラブ」活動の企画・運営を手がけるなど環境問題に取り組む若い世代の育成や一般市民への普及啓発に大きく貢献している。
福岡市	こども環境ネットワーク ”もしもし地球”  代表者 吉田 順子	設 立 平成5年7月 構 成 員 200名	小・中学生を対象とした「こども環境新聞”もしもし地球”」を平成5年から発行し、身近な環境保全の取り組みへの啓発活動を行ってきた。また、子供エコクラブのサポーターとして、地域河川の調査清掃や空き缶拾い、植林等を子どもたちと行ってきた他、本ネットワークの代表である吉田順子氏は福岡市環境教育推進協議会委員としても環境教育の推進に大きく寄与している。